

## 定例観察会実施報告書

1班 久保 順正

実施日 令和5年1月8日(日)  
実施地 しあわせの村から旧白川古道  
テーマ 冬の伊川源流をめぐる～小鳥のさえずりを聞きながら里山を歩く～  
集合 しあわせの村中央バス停9時30分  
コース しあわせの村～伊川源流～石抱きカヤ～旧白川古道～しあわせの村  
解散 しあわせの村芝生広場15時  
観察会参加者数 ビジター34名 会員39名(内1班19名) 総数73名  
グループの中心説明者 1班 上原 2班 久保 3班 池内  
4班 上ノ山 5班 中塚 会員 大橋

### 観察会の内容

- 早朝から霜が降りて寒さが厳しいと思われたが、次第に穏やかな天気となり、寒さは感じない観察日和になった。開会式で元気よく体操を行った後、グループ毎に分かれて出発した。
- それぞれの地点で、樹形、冬芽、果実などと併せて、伊川源流や神戸層群などについても紹介しながら観察を行った。

#### 1、しあわせの村

- ・メタセコイア、ラクウショウ→ユリノキ→ナラガシワ→トウネズミモチ→ヒマラヤスギ→ヤマナラシ→セコイアメスギ等の観察。
- ・メタセコイア、ラクウショウの樹形などから、違いを知った。
- ・ユリノキでは冬芽を見たり、翼のある種を飛ばしたりした。
- ・ヒマラヤスギでは球果や種鱗を観察した。

#### 2、マテバシイ前の広場(ドングリの特別説明、久保田)

- ・ドングリの特徴や違いをドングリの実物を見ながら学ぶことができた。

#### 3、伊川沿い付近

- ・ホテイチク→ムクノキ、エノキ→タイサンボク→神戸層群→イタビカズラ→タラヨウ→ムクロジ、キリ→カヤ等の観察。
- ・ムクノキとエノキの樹肌や冬芽等の違いを知ることができた。
- ・神戸層群の地層には葉などの化石があることがわかった。
- ・イタビカズラの実を割ると中にイチジクのような様子が見られた。
- ・キリの果実から白い翼のある多くの種を取り出し、風に乗せて飛ばしてみた。

#### 4、旧白川古道付近

- ・スダジイ→コウヤボウキ、コックバネウツギ、ツリバナ、ウグイスカグラ、ツルグミ→クロバイ→コ克蘭、イソノキ等の観察

- ・ウグイスカグラの徒長枝では、つば(托葉)が付いていることが分かった。
  - ・ツクバネウツギに2,3枚の萼(羽)がまだ残っているのを見つけた。
  - ・クロバイは特徴のある黒い樹皮をしていることを観察した。
- 15 時頃には全てのグループが、しあわせの村芝生広場に無事到着した。皆さんそれぞれに楽しんで頂いた様子で、ほぼ予定通りに観察会を終えることが出来た。

## 5、観察会の様子



参加者の受付



観察会の説明



メタセコイア、ラクウショウ



ドングリの特別説明



ツタ、ナツツタ



アキニレなど



ムクロジ3個付き



キリのタネ飛ばし



石抱きカヤ



お弁当



ウグイスカグラの托葉



コックバネウツギなど